

プロジェクトリーダー：南山大学 総合政策学部 石川良文教授

事業実績調書

(1) プロジェクト名 瀬戸市の社会課題の分析と新たな解決策

(2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載)

本プロジェクトでは、瀬戸市が抱える課題のうち、1) 観光資源のPR不足、2) 公共交通の利用低迷、3) 菱野団地の人口減少、4) 若者のシビックプライドの醸成の4つのテーマを取り上げ、各テーマについて以下に示す調査研究及び試行実験を行った。

テーマ (課題)	課題解決のための調査研究等
1) 観光資源のPR不足	瀬戸市の魅力発信事業 ①観光案内板の設置とWebによる情報発信 ②瀬戸市の魅力発信インスタ映えコンテスト
2) 公共交通の利用低迷	公共交通の利用促進事業 ①Google Mapへのバス情報提供 ②コミュニティバスの新たな支払い方法に関する提案 ③観光客に対するモビリティツールの提案
3) 菱野団地の人口減少	ニュータウンの魅力発信事業 ①菱野団地の魅力発信
4) 若者のシビックプライドの醸成	若者のシビックプライド醸成事業 ①若者のシビックプライド意識の調査研究

瀬戸市の魅力発信事業の結果として、まず①の観光案内板の設置とwebによる情報発信では、瀬戸市を訪れた人が瀬戸市内の観光スポットの場所を一目でわかるよう、パルティ瀬戸の柱に観光案内板を設置することができた。特に案内板にQRコードを掲載したことで、瀬戸市観光関連HPの閲覧が容易に行えるようになった。また、昨年度事業からの継続である電子ブック形式の観光案内(ebook)や、ゼミで作成した瀬戸市魅力発信HPにより瀬戸市の魅力を発信できた。②の瀬戸市の魅力発信インスタ映えコンテストでは、インスタグラムのat.SETOBURA(瀬戸ぶらり旅)のアカウントにて2部門の募集を行い、合計243件の投稿が集まった。また、アカウントのフォロワーは335名、閲覧数は2,501であり、事業期間を通じて瀬戸市の魅力を多くの方に発信できた。

公共交通の利用促進事業の結果として、①Google Mapへのバス情報提供では、2022年2月からGoogleMapにおいて基幹バス、コミュニティバスの経路探索等が可能になった。②コミュニティバスの新たな支払い方法に関する提案では、コミュニティバス利用者にアンケート調査を行い、ICカード決済や公共交通機関のサブスクリプション制度の導入を提案した。③観光客に対するモビリティツールの提案では、東京、大阪、愛知、岐阜、三重在住の方にwebによるアンケート調査を行い、ジブリパーク来園時に観光客が使いたいと思う公共交通を提案することができた。

ニュータウンの魅力発信事業では、菱野団地のプロモーション事業の結果として、フォロワーは8月から1月の6か月間で169人となり、「フォロワー100人」の目標を達成することができた。また、フォロワーの年齢層は、20~30代が全体の約70%とターゲット層としていた若者層が多く占める結果となった。さらに、全体でリーチ数は1,742となり、投稿内で最も多い「83いいね」をいただいたフィールドワークの投稿では、フォロワー以外に661のアカウントからリーチしていただき、かなり多くの方が閲覧して下さったことが分かった。

若者のシビックプライド醸成事業では、瀬戸市に在住したことのある若者にアンケート調査を行い、160名から回答を得た。その結果、若者は瀬戸焼、せともの祭、岩屋堂公園にシビックプライドを得ていることが判明した。

(3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)

本プロジェクトで取り上げた4つの課題に対する事業ごとにその内容を以下に示す。

1) 瀬戸市の魅力発信事業

①観光案内板の設置とWebによる情報発信

観光案内板の設置を企画し、デザインを名古屋学芸大学の学生に依頼して作成した。作成した案内板は、2021年12月から尾張瀬戸駅前パルティ1F屋外に設置した。Webによる情報発信では、過年度事業で作成した瀬戸の魅力配信サイト「知ってせと、住んで瀬戸」を継続すると共に、電子ブック形式の観光案内 (ebook) を2022年1月末まで閲覧できるようにした。

②瀬戸市の魅力発信インスタ映えコンテスト

瀬戸市内でインスタ映えするスポットの写真を10月16日から11月30日までの期間募集した。その結果2つの部門 (景観部門、エンジョイ部門) の募集枠で243件の投稿があり、各部門最優秀賞1つ、優秀賞2つの賞を授与した。コンテストの募集にあたっては、Instagram、チラシ、ラジオ出演などを通してPRを行った。

2) 公共交通の利用促進事業

①Google Mapへのバス情報提供

瀬戸市バス情報のGTFS導入について提案し、Google Mapに瀬戸市コミュニティバスのバス情報を反映できるように、都市計画課に対してデータ作成の補助を行った。

②コミュニティバスの新たな支払い方法に関する提案

コミュニティバス利用者147名に対して2021年12月にアンケート調査を行い、コミュニティバスの支払い方式としてICカード導入の可能性を提案した。

③観光客に対するモビリティーツールの提案

瀬戸市での観光に際して望ましいモビリティを検討するため、東京、大阪、愛知、岐阜、三重県在住者1,200名に対してwebアンケート調査を行った。

3) ニュータウンの魅力発信事業

菱野団地における若い居住者の定着と新規入居者の増加を促すため、菱野団地のプロモーション事業を行った。具体的には、Instagramでアカウントを新たに作成し菱野団地を知らない人にも菱野団地の魅力を知ってもらおうきっかけ作りをし、地域で活動されている「みんなの会」の方々と連携し菱野団地の知名度向上を目指し活動した。発信内容としては、団地内で行われたイベント、みんなの会のPR、団地内で活動する学生のインタビューなどである。Instagramの投稿は2021年8月から12月実施した。

4) 若者のシビックプライド醸成事業

若者のシビックプライドの実態を把握するため16歳から29歳までの若者100名に対してwebアンケート調査を実施した。調査に実施に際しては、シティプロモーション課を通して瀬戸市内の団体、高校、大学等に協力頂いた。

(4) プロジェクトの今後の課題と展望

今年度は、様々な分野から瀬戸市の課題を分析し各事業を実施した。今後の課題と展望としては、いかに今年度得られた成果を元の後輩に引き継ぐかということが挙げられ、次年度も瀬戸市の課題分析、解決に向けて活動を行いたい。来年度も継続すべき事業は引き継ぎ、連携してより良い事業が実施できる環境を整えていく。

<参考>

1) ①観光案内板の設置と Web による情報発信



観光案内版設置場所

観光案内版



魅力配信HP



瀬戸市のオンラインガイドブック

瀬戸市の魅力がたくさん詰まったガイドブックをオンライン化しました！
いつでもどこでもサクサク見れるこのオンラインガイドブックは瀬戸観光を充実させること間違いなしです！ぜひ、瀬戸観光のお供にご覧ください。



瀬戸市のおしゃれなカフェを特集したフリーペーパー「せともぐ」

〈画像をクリック〉

「せとを知らばせともぐっと近くなる。」というコンセプトで女子大学生をターゲットにしたフリーペーパーです。瀬戸市内のおすすめのカフェを11店舗掲載しています。また、カフェだけでなく「ちょこっとグルメ」ページも設けており持ち帰り可能な店も紹介していたり、素敵な雑貨屋さんも載っています。

※店舗情報変更あり。最新情報は[こちら](#)

電子ブック

1) ②瀬戸市の魅力発信インスタ映えコンテスト



瀬戸ぶらり旅

瀬戸市魅力発信インスタ映えコンテスト2021
大宇ソング・ソング・「新しい文化創造プロジェクト」後援事業

at Instagram

部門毎に商品券
最高券額10000円分
優待券 5000円分

日程: 10/16(土)~11/30(火)
場所: 愛知県瀬戸市

瀬戸市の魅力を拾ってほしいと思い活動している南山大学石川ゼミナールが主催するインスタ映えコンテストにご応募しませんか?
※部門別とエンジョイ部門に分けて賞をご用意しております。
ぜひカメラを片手にお友達やご家族と一緒に瀬戸市を観光して、インスタ映えスポットを探してみてください!

Instagram: 南山大学石川ゼミナール
Twitter: 南山大学石川ゼミナール
Facebook: 南山大学石川ゼミナール
LINE: @nanshan-univ

コンテストチラシ




エンジョイ部門受賞作



景観部門受賞作

2) ①Google Map へのバス情報提供



2) ②コミュニティバスの新たな支払い方法に関する提案

③観光客に対するモビリティツールの提案



3) ニュータウンの魅力発信事業

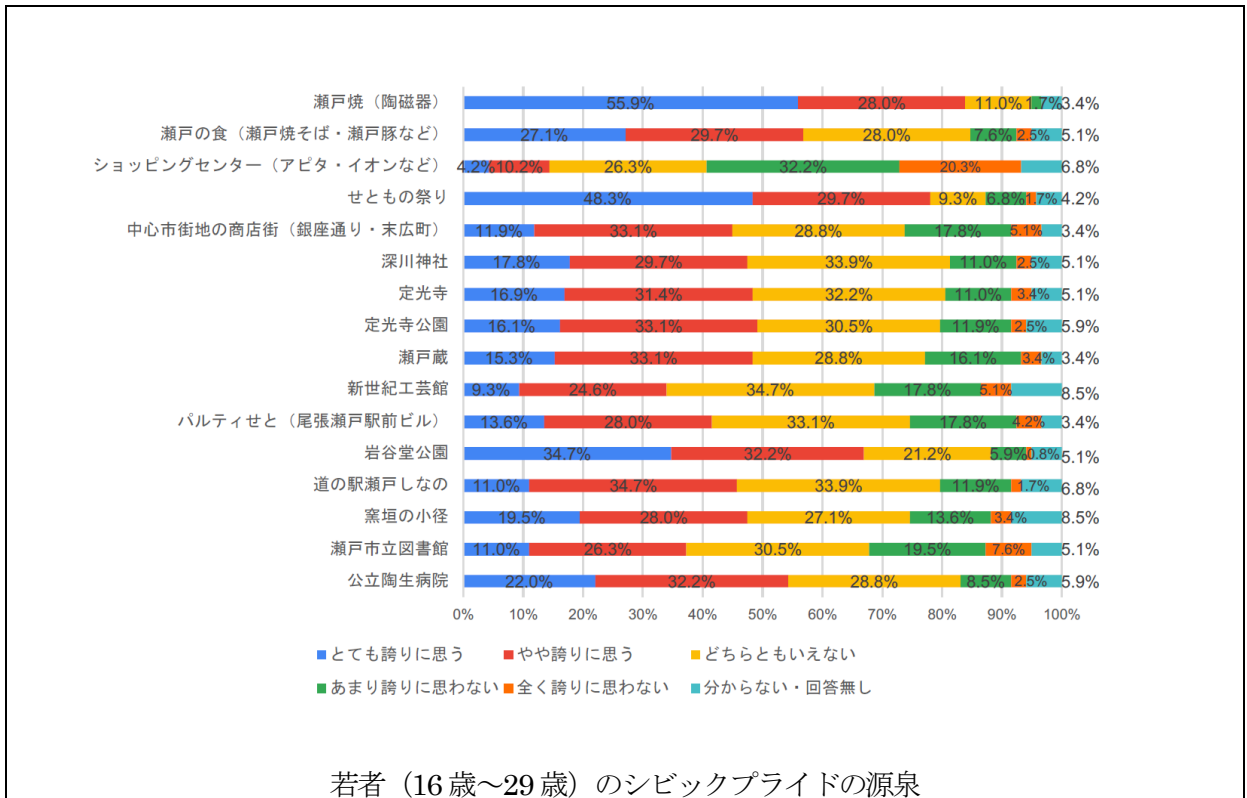


Instagram 画面



Instagram 広報ポスター

4) 若者のシビックプライド醸成事業



若者（16歳～29歳）のシビックプライドの源泉